

部 局	総務部	補 職	部 長	氏 名	総務部長
-----	-----	-----	-----	-----	------

1. 部局の使命

人材育成、組織管理、事務管理、政策法務能力の向上、市政に関する情報提供や情報化の推進などの取組みを通じて、持続可能な行財政運営の基盤を支えるとともに、各部局の業務が適正かつ円滑に遂行できるよう支援・統括する。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針 取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>○全庁の下支え役である総務部における仕事の質・成果が市組織全体での質・成果につながることを認識し、各部局の政策推進を支え、基本政策を推進するための土台となる行財政運営の基盤強化に向けて、スピード感、プラス1思考をもって各部局との調整やしきみづくりを行っていくことにより、「創る改革」を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材戦略や組織の一層の活性化に向けた取組みを進めます。 ・効果的・効率的な仕事の進め方への見直しを率先して進めます。 ・市民との信頼関係をより強固なものとするため、組織ガバナンスを強化していきます。 ・社会情勢を注視し、行財政運営にかかる新たな制度・しきみづくりも積極的に進めます。 ・報道機関への提供をはじめ積極的に情報発信していきます。 	<p>○新型コロナウイルス感染症対応として、年度途中での人事異動・組織の整備（4回）のほか、大学生向け緊急雇用対策、全庁一括での感染防止物品の調達・配備、臨時休暇の創設をはじめとした勤務条件の整備など、全部局が柔軟かつ効率的に職場運営できるよう、各種仕組みの整備・運用を行いました。</p> <p>○その上で、政策推進に必要となる行政運営基盤強化にかかる仕組みづくりを進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材戦略に基づく採用改革の取組み（民間適正検査(SPI)の導入、受験年齢制限の撤廃・引上げなど）により、受験者数の増加（670人→3882人）と多様な受験者（幅広い経歴・年齢層の方が受験）の確保につなげました。 ・働き方の見直しについて、WEB会議システム・無線LAN（第一・第二庁舎）・テレワークシステムを整備するとともに、長時間の時間外勤務（330時間/年）職員ゼロも達成しました。 ・ガバナンスの強化については、令和3年度（2021年度）からの導入に向け内部統制体制を整えるなど（政令市以外では府内初）、仕組みづくりを進めました。 ・デジタル社会に向け社会が大きく変化するなか、計画期間途中で情報化計画を廃止し、新たに『デジタル・ガバメント戦略』を策定し、デジタル化の取組みを加速させました。 ・医療ガウンづくり、緊急雇用対策、デジタル化の取組みなどが広く報道され、市民と共有することを通じて市の魅力と職員のモチベーションの向上にも寄与したと考えます。

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>業務基盤の強化</p> <p>○適正な事務執行の確保並びに組織・運営の合理化を図るため、事務・文書管理など経営管理にかかるしくみづくりや見直し等を進めます。 ○また、計画的な保全工事により庁舎の長寿命化を図るとともに、来庁者の利便性を向上させる取組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 内部統制システムの試行運用（通年） <ul style="list-style-type: none"> ・第1・第2四半期：取組と評価実施、第3四半期：課題整理、第4四半期：制度確定 ・基本方針の策定及び推進体制整備、各種ドキュメント整備（3月） * 事務管理の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・文書事務・契約事務について実地調査を実施 * 内部公益通報の窓口外部化の検討（12月までに方針決定） * 入札・契約事務の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・随意契約の一層の透明性確保に向けた取組み ・工事入札について全案件での予定価格事後公表の実施とそれに伴う課題整理・しくみづくり <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価一般競争入札の対象業務拡大（文書送達業務、下半期に入札実施） * 庁舎の長寿命化に向けた取組みなど <ul style="list-style-type: none"> ・利便性向上に向けたトイレ改修設計 ・次期ESCO事業者の決定（令和4年度サービス開始） ・情報発信拠点の整備（第一庁舎1階、8月） * 公共施設管理の適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・NTTビルの借上げスペース、臨時文書庫（学校に設置分）の見直し（年度内に方針決定） 	<p>○経営管理の仕組みづくりを進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 内部統制体制の整備（R3.4実施） * 謝礼金の統一基準策定、決裁権限の明確化（監査結果対応） * 文書・契約事務の実地調査（総務担当課等） * 内部公益通報窓口の外部化（R3.6実施）にかかる制度設計 * 入札・契約事務の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・工事における随意契約の唯一性確認の仕組み確立など ・入札参加登録期間の延長（2年→3年） ・全工事案件で予定価格の事後公表を実施（193件、不調10件、くじ24件、落札率90.57%、R1（一部実施）：115件、不調4件、くじ6件、落札率91.08%） ・総合評価一般競争入札の拡大など（工事：市内業者向け1億5千万円以上適用→1億円以上適用に見直し、評価点の配分見直し、物品等：文書送達業務に適用） <p>○庁舎機能の向上を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 耐震化・外構工事は予定通り進捗 * E S C O事業者決定（13.5%CO2削減見込み） * 情報発信拠点（T I P）整備（R3.4運用開始） * N T TビルはR3.12でもって4階部分を契約解除（床面積▲31%、793m3→546m3） 	<p>○内部統制などの新たな仕組みについては、運用のなかで改善を重ねるとともに、職員への定着に向けた取組みを並行して行います。</p> <p>○事務管理については、適宜、必要な仕組み・制度を整えます。</p> <p>○本庁舎については、長寿命化を前提に、来庁者の利便性や快適性を確保するよう、計画的に機能向上を進めます。（R3にトイレはすべて洋式化、第一庁舎5Fに多目的トイレ整備予定）</p>
	<p>総合計画</p> <p>5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。</p>		
<p>基本政策</p>			
	51 行財政改革の推進（公民連携セクションの設置、働き方見直しの推進など）	52	入札制度の改革

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	ワークスタイル変革の推進 ○ICTの活用と制度・しくみの見直しにより、環境に配慮しつつ、効果的・効率的な仕事の進め方、働き方への見直しを進めます。また、臨時・特定の課題については、部内プロジェクトチームを柔軟に編成し、部全体として取組みを進めます。 *WEB会議システムの導入（コロナウイルス対策分5月、通常分10月） *RPA適用業務の拡大（部内6業務以上の選定） *テレワーク基盤の構築（10月より順次運用） モバイルワークと在宅ワークのそれぞれを検証 *PCのモバイル化検証（2月）、庁内ネットワークの無線化（第二庁舎、3月） *グループチャットの導入（10月） 自席での会議・打合せの実施 *社会環境を踏まえた職場制度（LGBT、がん治療、不妊治療などへの対応） *長時間勤務の是正 時間外勤務330時間超／年の職員をゼロ（令和2年度（2020年度）達成） *時差出勤制度の運用（4月）と検証（下半期）	○コロナ禍も踏まえにおいてデジタルを活用したスマートな働き方を進展させました。 *WEB会議システムは当初予算分にコロナ対策分を加え配備（WEB会議実施にかかるルールも制定） *RPA適用業務を拡大（7課14業務→12課25業務） *テレワーク基盤の構築（LGWAN-asp方式、192人に実施環境提供） *PCのモバイル化（特別職・部長級・総務担当課長）、庁内ネットワークの無線化（第二庁舎・議会棟） *グループチャットについては、府内自治体との共同調達による導入を方針化（R3導入） *祝日勤務の振替制度（週休日と同様の運用）、LGBT・がん治療・不妊治療の休暇制度の創設など社会情勢を踏まえた勤務制度を整備 *長時間（年330時間超）の時間外勤務職員はコロナ対応分を除外し、0人を達成（R1：27人） *時差出勤制度については、アンケートを実施し、1時間単位の時差から30分単位に細分化（R3実施）	○最先端の技術動向を注視し、積極的なデジタル活用によって、より効果的・効率的な働き方への見直しを進め、サービスおよび生産性の向上と働きやすい職場につなげます。 ○社会環境の変化や多様な働き方の進展を踏まえ、勤務制度づくりに取り組めます。
	総合計画		
	5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。		
	基本政策		
	51 行財政改革の推進（公民連携セクションの設置、働き方見直しの推進など）		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>人材戦略の推進</p> <p>○経営戦略を遂行するための人材マネジメント方策を示した『人材戦略』を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> *人材戦略に掲げた令和2年度実施事項19項目の完全実施 *採用改革の実施 <ul style="list-style-type: none"> 募集ツールの充実（ポスター作製、ホームページの充実、オープンオフィスの実施など）、試験実施時期の前倒し、年齢制限撤廃（就職氷河期世代支援）、試験手法の見直し（SPI3の導入、面接手法の見直しなど） *定年延長・役職定年制のしくみづくり（令和2年度（2020年度）中に制度設計を完了） *民間企業等との人事交流を促進 <ul style="list-style-type: none"> 交流先の拡大 *チーム力向上に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> サンクスカードの運用（10月から）、1 on 1 ミーティングの実施（7月から） *ワークライフバランスに配慮した人員配置 *女性活躍の推進 <ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率の新目標設定（7月）、キャリア支援研修の実施 *職員の人材バンク登録制度の検討（災害派遣、部局間応援等への迅速な対応） 	<p>○『人材戦略』に基づき取組みを進めました。※コロナ禍のため実施を見送った項目あり（採用案内ポスター作製、オープンオフィス、1 on 1 ミーティング、キャリア支援研修）</p> <ul style="list-style-type: none"> *採用改革の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・SPI検査導入、試験時期前倒し（保健・社福）、年齢制限撤廃（社福・技術） ・引上げ（事務・保健・保育）、人物重視徹底（WEB面接の実施、面接回数増）により受験者670人→3882人に大幅増 *定年延長については法制度化延期により継続検討 *新たに総務省、日本国際博覧会協会事務局、府に派遣先を拡大（R3.4）するとともに、民間専門人材の活用（法務、デジタル、広報分野）を推進（R3：3人） *サンクスカードについて、2部局（総務部・都市経営部）で11月から実施 *政策推進のため、業務量の増減を踏まえ、年度途中で人事異動により職員配置を調整（4回/年） *女性管理職比率の向上（H29:22.5%→R3:25.4%）及び新目標設定（例：女性管理職比率R7:30%） *人材バンク登録制度については、人事給与システム等を活用した仕組みを検討（継続課題） 	<p>○受験年齢制限の撤廃・引上げを踏まえ、昇格、昇給の基準等を見直しを検討します。</p> <p>○追加採用試験の状況を踏まえ、今後の採用戦略に反映させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> *R2決算より非常勤職員も含めた人件費の他都市比較が可能となるためその分析も行います。 ○受験者数の増大に対応するため採用事務の効率化を進めます。 ○引き続き民間専門人材の活用を進めます。 ○女性採用比率がに高まるなか、女性職員のキャリアアップ支援にかかる研修機会の拡充等により、女性活躍が当たり前の職場づくりを進めます。 ○効果的・効率的な人材バンク制度を引き続き検討します。
	<p>総合計画</p> <p>5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。</p>		
	<p>基本政策</p>		
	<p>51 行財政改革の推進（公民連携セクションの設置、働き方見直しの推進など）</p>	<p>54 女性の活躍推進（管理職への女性登用、女性のキャリアアップ支援）</p>	

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>デジタルサービスの推進</p> <p>○ICTを活用し、市民サービスの質的向上を図るための総合企画調整を行います。また、公共データのオープン化なども順次進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 公共施設予約システムの利用拡充 全18施設でも仮予約まで適用（現行1施設のみで実施）（下半期） * 行政サービスの電子手続き化の推進（電子申請の拡大又は新たな電子申請のしくみ構築に向けた検討） * オープンデータの推進（通年） <p>○情報システムの効果的・効率的な整備、運用管理、コスト削減を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * ネットワークの統合（10月） 行政情報系と住民情報系のネットワークを統合（10年間で約4億円削減） * 情報システム経費の適正化（通年） 外部活力を活用し仕様・見積等の精査を強化 	<p>○『デジタル・ガバメント戦略』を策定（9月）し、デジタル化の取組みを推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 公共施設予約システムの適用範囲拡充（R3. 1から18施設で仮予約まで対応拡大） * 手続きのオンライン化（4%→R3. 4:20%に拡充）及びハンコレスの推進（20. 8%→R3. 4:59. 5%） * 電子申込システムに電子決済機能を付加、個人の状況に合わせ必要となる手続きを自動的に案内する窓口案内サービスを導入（1月） * L I N Eを活用した窓口予約などオンラインサービスを実証実験（1月～3月） * オープンデータの推進（3項目→12項目） * R P A及びA Iの活用を促進（R P Aは7課・14業務→12課・25業務に拡大、A Iは4業務に導入） * キャッシュレス決済の拡大（12件→57件） * 公衆無線L A Nの計画的整備（本庁舎、公民館） * ネットワーク統合は予定通り完了（12月） * 情報システム経費の適正化（効果額134百万円、R元年度:28百万円） * 職員からアイデアを募集するデジタルアイデアボードを創設 * 包括連携協定先企業の協力の下デジタル講習会を実施（3月 約40人） 	<p>○デジタルの取組みについて社会的ニーズにスピード感をもって対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サービスと生産性の向上を図る取組みを進める一方、土台となるセキュリティ対策を強化します。 ○デジタル改革関連法制により個人情報保護について全国的な共通ルールが規定されることから、これを踏まえ条例や仕組みの見直しを進めます。 ○手続きのオンライン化及びハンコレスについては令和4年度（2022年度）までの原則100%（市の裁量にあるもの）対応します。 ○すべての手数料についてQ Rコード決済対応を進めます。 ○L I N Eなど民間のインフラを活用したサービス展開を強化します。 ○システムの標準化（標準クラウド移行）については、先進的に取組みを進めます。 ○W E B会議、ペーパーレスなど用途別に整備したデバイスの統合を検討します。 ○民間資源を活用しデジタルデバйд対策を進めます。
	<p>総合計画</p> <p>5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。</p>		
<p>基本政策</p> <p>51 行財政改革の推進（公民連携セクションの設置、働き方見直しの推進など）</p>			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う取組みについて</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、クラスターリスクを抑制するための取組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> *連絡通信手段としてWEB会議システムを整備(5月) *内定取り消し者などを緊急雇用し、就労支援(5月) *職員研修、職員採用説明会および職員採用試験のWEB方式による実施 <p>検討</p> <ul style="list-style-type: none"> *行政サービスの電子手続き化の推進(随時) *感染症対策にかかる全庁応援体制を構築(随時) *感染症対策を推進するため、柔軟に人員を確保(随時) *職場の感染防止対策の強化(随時) <p>定期的な消毒、テレワーク、柔軟な勤務制度、備品整備など</p>	<ul style="list-style-type: none"> *採用試験の追加実施(1月、大卒事務・15人、R3.6採用) *航空業界と「人材の活用に関する協定」を締結し7人を市職員として1年間雇用(R3.4) *雇用に影響を受けた方を対象とした緊急雇用を実施(12人雇用) *大学生を対象とした緊急雇用を実施(20人雇用) *職員研修は一部WEB化、職員採用説明会(5月)は完全WEB化、職員採用試験は一部WEB面接を実施 *職場における感染防止対策の基本方針策定 *人事異動を伴う組織体制の見直しを4回実施 <ul style="list-style-type: none"> ・6月(学び方改革PT設置) ・8月(感染症対応等の人員増強) ・10月(デジタル戦略課設置) ・1月(ワクチン接種対策チーム設置) *入札参加資格を臨時的に緩和(コロナの影響を受けた納税猶予者への対応) *本庁舎における感染防止対策(2回/日の定期消毒、便座クリーナー設置、週休日における空調運転等) 	<p>○新型コロナ対応を含めた政策推進体制を整備するとともに、新型コロナによって就労に影響を受けた方等の就業機会を確保するため、必要に応じて、緊急雇用対策などを実施します。</p> <p>○全庁共通の感染防止物品等については、引き続き、一括調達し、配布するなど各部局を支援する取組みを進めます。</p> <p>○勤務制度や仕事の進め方などコロナ禍に必要な環境整備を行います。</p> <p>○リスク対応の観点からもデジタル化を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>0-0-0</p>		
<p>基本政策</p> <p>0</p>			

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>業務基盤の強化</p> <p>○包括外部監査の結果などを踏まえ、既存のマネジメントのしくみも活用しながら、内部統制を運用するとともに、組織・事務・文書等の経営管理を徹底します。</p> <p>○個人情報保護及び業務における情報の安全性を確保するとともに、不服申立制度の運用など市民の権利利益の保護に資する取組みを進めます。</p> <p>○法的課題にかかる担当部局への支援や公益通報制度などコンプライアンスにかかる取組みを推進するとともに、条例等の制定・改廃や訴訟対応を通じて職員の法務能力の向上に努めます。</p> <p>○市内事業者の育成や受注機会の確保を考慮しつつ、入札・契約制度の透明性、競争性および公正性を向上させます。</p> <p>○来庁者や職員が本庁舎を安心・安全に利用できるよう、維持保全するとともに、公用車両の効果的・効率的な運行管理を行います。</p>	<p>* 内部統制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムの運用開始 令和3年度(2021年度) ・評価、議会報告 令和4年度(2022年度) <p>* 庁舎の長寿命化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震化等工事 令和3年度(2021年度) 完了 ・外構工事 令和3年度(2021年度) 完了 ・トイレ改修 令和3年度(2021年度) 施工(第一庁舎) 令和4年度(2022年度) 施工(第二庁舎) <p>* 内部公益通報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部窓口の設置 令和3年度(2021年度) 予定
	総合計画	
	5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。	
	基本政策	
51	行財政改革の推進(公民連携セクションの設置、働き方見直しの推進など)	52 入札制度改革
2	<p>働き方の見直し推進</p> <p>○働き方の見直しについては、働く「ひと」「場」「しごと」の3つの側面から、様々な取組みを進めます。</p> <p>○AI等の先進技術を積極的に活用し、事務の効率性等を向上させます。</p> <p>○職員が能力を最大限に発揮できるよう、ワークライフバランスを推進し、長時間勤務の是正等を進めます。</p> <p>○スマートオフィス※などワークスタイルの変革を進めます。</p> <p>※スマートオフィス…フリーアドレス制、無線LAN環境、WEB上での会議、資料のペーパーレス化などICT等の活用により事務効率の向上や環境への配慮に寄与することを目的とした執務環境</p>	<p>* 定年延長・役職定年制の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条例改正 令和3年度(2021年度) 中 ・制度導入 令和4年度(2022年度) 実施(令和12年度(2030年度)完成) <p>* 長時間勤務の是正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・330時間超/年の職員数「ゼロ」を維持 <p>* ネットワークの無線化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎以外(一定規模以上) 令和3年度(2021年度)以降順次 <p>* タブレット端末の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web会議とペーパーレス会議の統合検討 令和3年度(2021年度)
	総合計画	
	5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。	
	基本政策	
51	行財政改革の推進(公民連携セクションの設置、働き方見直しの推進など)	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>人材戦略の推進</p> <p>○社会情勢の変化や多様化・複雑化する行政課題に的確・迅速に対応するとともに、基本政策や総合計画を着実に推進するため、柔軟に組織体制を見直し、効果的・効率的な執行体制の構築に取り組みます。</p> <p>○人事・給与・研修制度について、人材戦略のもと、採用改革の推進などに取り組みます。適宜、人材戦略の実施事項の見直し・追加等を行いながら、取組期間満了後の戦略について検討します。</p> <p>○AI等の最新技術の活用を進めることにより、人的資源を政策課題に集中させるとともに、執行体制を最適化します。</p> <p>○人材育成基本方針（第4版）を推進するとともに、その取組み成果や課題等を踏まえて、実施プランを策定します。</p> <p>○意欲と能力のある女性職員を積極的に管理職に登用し管理職における女性の比率の向上に努めます。</p>	<p>* 組織機構の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題整理 令和3年度（2021年度） <p>* 人材戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次期戦略の検討 令和4年度（2022年度） <p>* 人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施プラン3策定 令和5年度（2023年度） <p>* 人事評価制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 制度検証・必要に応じて見直し 令和3年度（2021年度）
総合計画		
5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。		
基本政策		
51	行財政改革の推進（公民連携セクションの設置、働き方見直しの推進など）	54 女性の活躍推進（管理職への女性登用、女性のキャリアアップ支援）
4	<p>ICT活用推進</p> <p>○情報システムの効果的・効率的な更新・整備、タブレットなどのスマートデバイスや社会保障・税番号制度の活用により、行政運営の効率化・最適化を図るとともに、行政手続きや窓口サービスの利便性を向上させます。</p> <p>○運用管理の効率化、コスト縮減を進めるため、サーバやネットワークの統合を計画的に実施するとともに、システムのクラウド化の調査を進めます。</p> <p>○オープンデータの公表など保有する情報の地域課題への利活用をより一層推進します。</p>	<p>* サーバ統合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2段階実施（税+保険）令和5年度（2023年度） <p>* 公共施設予約の電子手続き化拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新システム構築、キャッシュレス対応化 令和4年度（2022年度） <p>* 行政サービスの電子手続き化の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイナンバーカードの普及状況を見ながら新システムを検討 令和5年度（2023年度）運用 <p>* 事務環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務用PCのモバイル化拡大 令和3年度（2021年度）から ・ テレワークの拡大 令和3年度（2021年度）から
総合計画		
5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。		
基本政策		
51	行財政改革の推進（公民連携セクションの設置、働き方見直しの推進など）	